

1 対象

小学校4年生～6年生、中学生

2 ねらい

アイヌ民族の文化について興味・関心をもち、理解を深めるきっかけとする。

3 準備するもの

- ワークシート
- 資料1、2
- 1人1台端末
- 色鉛筆など

4 解説

世界には多数の先住民族が存在しますが、多くの先住民族は迫害の対象となったり、多数派民族への同化を強いられた結果、言語や伝統的な慣習を捨てることを余儀なくされたりといった困難にさらされています。

たとえば、アイヌ民族は、先住民族として独自の言語や文化を持っていましたが、日本が近代国家を形成する過程において、様々な差別や迫害を受けてきました。このような状況の中、平成31年（2019年）に「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が成立しました。

同法では、アイヌ施策の推進は、アイヌの伝統等並びに多様な民族の共生及び多様な文化の発展についての国民の理解を深めることを旨として行われなければならないとされています。アイヌの人たちは、県内にも居住しています。「ともに生きる社会かながわ」をめざすためにも、アイヌ民族の文化や歴史を理解し、民族としての誇りを尊重することが重要です。

5 教科などとのつながり

社会、図画工作／美術、総合的な学習の時間 など

6 進め方（展開例） 45分または50分

| 時間 | 学習の流れ（活動・内容） | 留意事項 | 資料など |
|---------------------------------|---|---|--|
| 導入 10分 | <p>◆アイヌ文化について知る（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1を読む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1に触れながら、アイヌ文化について話をする。児童・生徒の実態に応じて、難しい言葉はわかりやすい表現にして伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 |
| | <p>◆アイスブレイキング（5分）</p> <p>「アイヌ語であいさつしてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1を持ってクラス内を自由に歩き、クラスメイトにアイヌ語であいさつをする。 | | |
| <p>・アイヌの言葉に出会い、アイヌ文化に興味を持つ。</p> | | | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>展開</p> <p>小学校 30分 中学校 35分</p> | <p>◆アクティビティ（小30分、中35分） 「アイヌ文化にふれてみよう」</p> <p>①資料2を参考にしたり、1人1台端末を使ったりして、アイヌの衣服について調べる。</p> <p>②資料1、2を参考に、ワークシートの1に色鉛筆などで描き入れる。</p> <p>③6人程度のグループで、お互いが描いた衣服を鑑賞する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料2の写真を見せながら、文様には、一部の地域では魔除け（災いを避ける）の意味があり、着る人を守るように祈りが込められていたことを話す。 ・文様の意味については、地方によって様々であることに留意する。 ・文様の形も地方によって様々なものがあることに留意する。 ・原則左右対称に描くよう伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 ・資料2の写真の拡大 ・1人1台端末 ・ワークシート ・色鉛筆など |
| <p>まとめ</p> <p>5分</p> | <p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの2を書く。 ・グループで感じたことを伝え合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りから、アイヌ文化に対する言葉などを拾い、アイヌ文化について更なる興味・関心につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート |

・アイヌの言語や伝統的な慣習には、アイヌの人たちの思いや祈りがこめられていることを感じる。

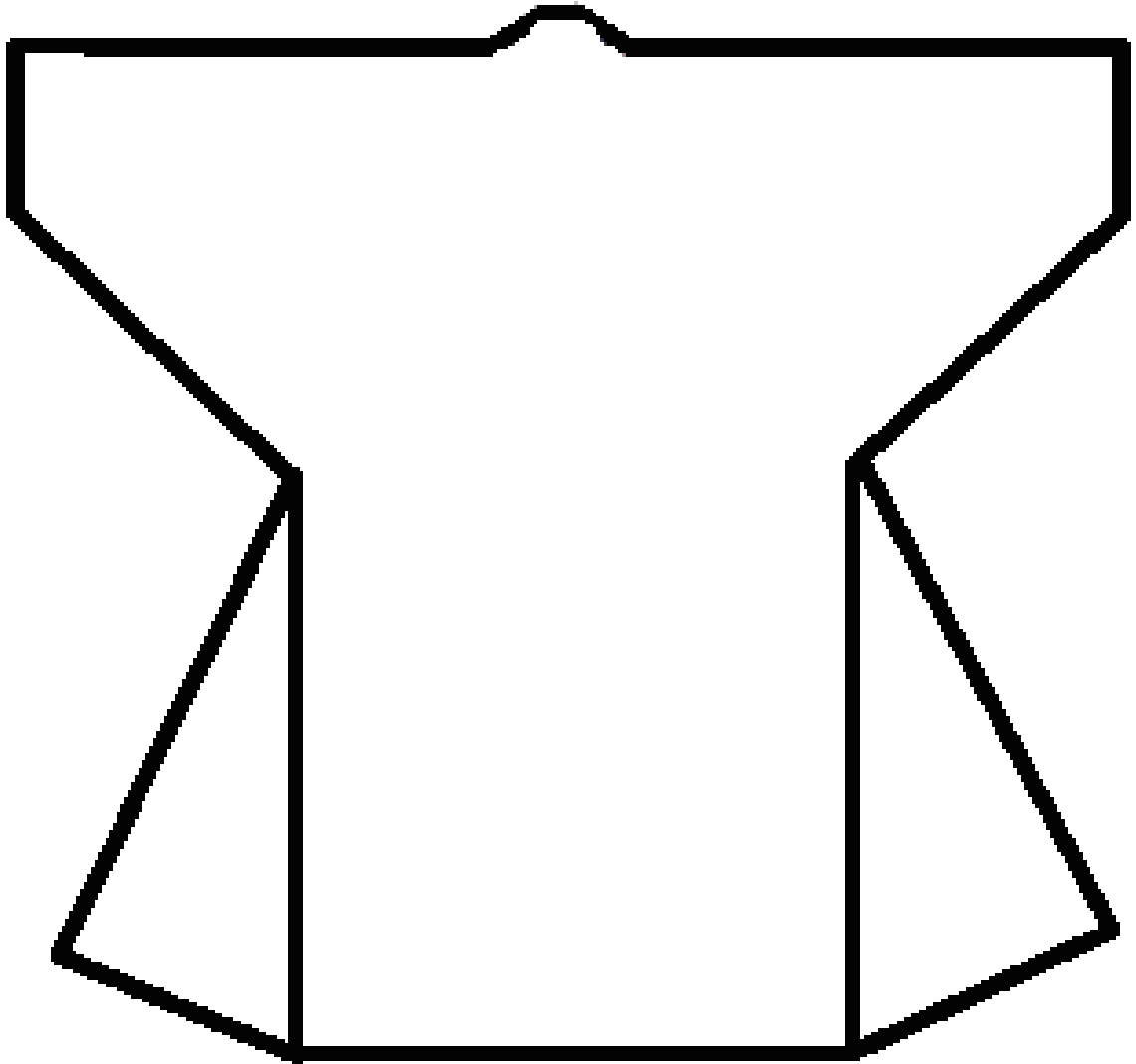
<参考資料など>

- ・「バーチャル国立アイヌ民族博物館」（国立アイヌ民族博物館 ウェブサイト） <https://nam-vm.jp/>
- ・国立アイヌ民族博物館 ウェブサイト <https://nam.go.jp/>
- ・ウポポイ 民族共生象徴空間 ウェブサイト <https://ainu-upopoy.jp/>
- ・「アイヌ文化ポータルサイト」（公益財団法人 アイヌ民族文化財団 ウェブサイト）
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_bunka/index.html
- ・「アイヌ語ポータルサイト」（公益財団法人 アイヌ民族文化財団 ウェブサイト）
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html

アイヌ文化にふれてみよう

() 年 () 組 () 番 名前 _____

- 1 資料などを参考に、アイヌの衣服に文様を組み合わせせて描きましょう。アイヌの人々と同じように、着てもらう人を想像して、祈りを込められるとよいですね。



- 2 あなたはどのような思いで描きましたか。今日の授業をとおして感じたことを振り返ってみましょう。

アイヌ文化

アイヌ民族は日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族です。日本語と系統の異なる言語である「アイヌ語」をはじめ、自然界すべての物に魂が宿るとされている「精神文化」、祭りや家庭での行事などに踊られる「古式舞踊」、独特の「文様」による刺繍、木彫り等の工芸など、固有の文化を発展させてきました。古い記録から伝統的な踊りを復活させようと取り組む人たちが、新しいアイヌ音楽を創造する人たちも増えています。

出典：「アイヌ文化について」ウポポイ（民族共生象徴空間）ウェブサイト
<https://ainu-upopoy.jp/ainu-culture/>

アイヌ語のあいさつ

※現在のところアイヌ語に共通語はなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が使われていたことがわかっています。この資料では「千歳の方言」をベースにしています。

- ・イランカラナテ [こんにちは]
- ・エイワンケ ア [お元気ですか]
- ・クイワンケ ワ [元気です]
- ・〇〇 セコロ クレヘ アン [私の名前は〇〇といます]
- ・イヤイライケレ [ありがとう]
- ・スイ ウヌカラアン ロ [また会いましょう]

参考：「アイヌ語教材テキスト（初級・千歳）」（公益財団法人 アイヌ民族文化財団）
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/post.html

アイヌの衣服と文様に込めた思い

アイヌの衣服には樹皮から作られた樹皮衣、イラクサなどの繊維で作られた草皮衣、大型の魚の皮で作られた魚皮衣など、様々な種類があり、地域によっても特徴があります。また、木綿が大量に流入するようになると、華やかな文様で彩られた様々な木綿衣が作られるようになりました。

アイヌが身に着ける衣服には、切り伏せ（※）した布や刺しゅうなどによって、モレウ（渦巻き文）やアイウシ（棘の文様）と呼ばれる独特の文様が施されています。これらの文様には地方によってそれぞれの特徴があり、母から娘へと伝えられました。

襟や袖口、裾まわりなどに施された文様には、単に見た目を美しく飾るだけでなく、そこから「病気の神々」などが入り込まないようにする魔除けの意味があるとされます。しかし、普段着や作業着には文様の無い物もあります。

参考：「衣服・文様 文様に想いを込める」（阿寒湖温泉アイヌ文化推進実行委員会）阿寒アイヌ文化遺産ウェブサイト
https://www.akanainu.jp/culture/ifuku_monyou/

（※）「切り伏せ」とは、アイヌの衣服の代表的な装飾法の一つで、テープ状に切った絹や木綿の布を衣服の布上に置いて縫い付け、文様を表すものです。

い ふ く もんよう み
アイヌの衣服や文様を見てみよう

もめんい
木綿衣

アイヌの木綿衣には地域によって文様、あるいは手法に違いがあり「チカルカルペ」、「ルウンペ」、「カパラミツ」、「チヂリ」の4種類に分けられています。



チカルカルペ



ルウンペ



カパラミツ



チヂリ

「アイヌ生活文化再現マニュアル 縫うー木綿衣ー」（公益財団法人 アイヌ民族文化財団 提供）
https://www.ff-ainu.or.jp/manual/files/2001_04.pdf

さまざま もんよう
様々な文様

※文様の意味や形も地方によって様々です。



出典：「アイヌの民族衣服における文様の呪術的要素と地域差」（和洋女子大学紀要, 家政系編：諏訪原貴子, 鷹司綸子）
<https://wayo.repo.nii.ac.jp/records/581>